

音のアルバム

- 2015.08.28 Friday
- 11:25

このブログも今日の記事で200回です。

書き始めたのは2006年7月の20周年記念演奏会前の6月でした。

2005年10月に入団し、すでに始まっていた演奏会向けの練習曲の中に

大学時代に歌った「岬の墓」があったことにうれしさを覚えたものです。

(本棚を整理していたら大学時代の楽譜と記念演奏会の年の楽譜が見つかりました)



早いもので入団して10年間、たくさんの歌と出会い、旋律と共にその当時のいろいろなシーンが浮かびます。

音楽はまさに「音のアルバム」なんですね。



これは大学から現在までの合唱の楽譜のほんの一部。

中央の緑色の大学混声のものを境に

左側はモーツァルト・ハイドン・フォーレ・ヴェルディ・ヴィヴァルディ・プッチーニの宗教曲、
右側は旭混声関係。

高校の吹奏楽でアンサンブルの楽しさを覚え、プライベートではソロ三昧だったので
サークル活動に「合わせる」心地よさを求めました。

棚の中に20周年演奏会のプログラムとひとこと集を見つけました。



若くして亡くなった近藤まゆちゃん、既に退団された方々の言葉や姿が蘇ります。

その後の演奏会、沖縄の曲を練習した暑い夏、
難しいドイツ語と格闘し意気消沈した団員がステージに全員立てるかどうか、
演奏会後に練習から遠ざかる団員が出てきたら技術委員長として立場がないかも？と寝られなくなるほど悩んだ(笑)ネニエ。苦しかったことも楽しかったことも心の中に旋律と共に残る財産となりました。
10年間共に歌わせていただき、ありがとうございました。

さあ、来年の20周年記念演奏会まで1年、皆さんが作る音のアルバム、楽しみです！



カメラ小僧として好きに書かせていただいたこのブログ、私の担当は今日でおしまいです。
一団員として日々のつれづれを、また技術委員長として直に言えないメッセージを書いたこともありました。
書きながら自分を奮い立たせていた気がします。

「記事を楽しみにしているわ！」とのお声に励まされ、長きにわたって書くことができました。
読んでいただき、ありがとうございました。

広報部員の方々の努力でリニューアルされ内容が一層充実した旭混声のHP、団内の皆さん、これから合唱を始めようかな？とのぞいてくださっている方、どうぞ、楽しんでいただけたら幸いです。
HPが一層、盛り上がりますよう陰ながら応援しております。